

# 平成28年度 登録販売者試験

## 午前部

### 【 注 意 事 項 】

- 試験問題は、Ⅰ 医薬品に共通する特性と基本的な知識（20問）  
Ⅱ 人体の働きと医薬品（20問）  
Ⅲ 薬事に関する法規と制度（20問）  
の3科目、60問です。全てに解答してください。
- 試験時間は午前10時30分から午後0時30分までの2時間です。
- 本試験はマークシート方式です。  
解答用紙に受験番号（J161以下の4桁の数字）を正しくマークし、氏名及び受験番号も忘れずに記入してください。

受験番号を誤ってマークした場合や、マークしていない場合は、不合格となる場合があります。

<記入例1> 受験番号がJ1619012の場合

J	受 験 番 号									
1	<input checked="" type="radio"/>	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
6	①	②	③	④	⑤	<input checked="" type="radio"/>	⑦	⑧	⑨	⑩
1	<input checked="" type="radio"/>	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
9	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	<input checked="" type="radio"/>	⑩
0	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	<input checked="" type="radio"/>
1	<input checked="" type="radio"/>	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
2	①	<input checked="" type="radio"/>	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩

- ・マークの際には0、1、9の位置を十分確認してください。
- ・受験番号、氏名も忘れずに記入してください。

- 答えは、番号を選び、必ず解答用紙に記入してください。  
答えは、1問につき1つしかないので、2つ以上マークすると不正解になります。  
解答用紙は、直接機械にかけて読み取りますので、折り曲げたり、汚さないよう、注意してください。  
誤って記入した場合は、跡が残らないように消しゴムできれいに消してください。  
消し跡が残っていたり、マーク欄が汚れていると不正解になることがあります。

<記入例2>

例題 奈良県庁の所在地について、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 奈良市
- 2 大和郡山市
- 3 橿原市
- 4 大和高田市

1	<input checked="" type="radio"/>	②	③	④
---	----------------------------------	---	---	---

正解は「1 奈良市」なので、上のようにマークしてください。

- 本試験では、「医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律」を「医薬品医療機器等法」、「医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律施行令」を「医薬品医療機器等法施行令」、「医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律施行規則」を「医薬品医療機器等法施行規則」とします。
- 問題用紙は、持ち帰ってかまいません。

指示があるまで開いてはいけません

## I 医薬品に共通する特性と基本的な知識

1. 医薬品の本質に関する記述のうち、**正しいものの組み合わせ**を1つ選びなさい。

- a 医薬品は、期待される有益な効果（薬効）のみをもたらすとは限らず、好ましくない反応（副作用）を生じる場合もある。
- b 一般用医薬品の人体に及ぼす作用は、すべて解明されている。
- c 医薬品は、市販後にも、医学・薬学等の新たな知見、使用成績等に基づき、その有効性、安全性等の確認が行われる仕組みになっている。
- d 一般用医薬品は、医療用医薬品と比較して、保健衛生上のリスクは相対的に高いと考えられている。

1 (a、b)      2 (a、c)      3 (b、d)      4 (c、d)

2. 健康食品に関する記述の正誤について、**正しい組み合わせ**を1つ選びなさい。

- a 「機能性表示食品」は、疾病に罹患していない者の健康の維持及び増進に役立つ旨又は適する旨（疾病リスクの低減に係るものを除く。）を表示するものである。
- b 健康補助食品（いわゆるサプリメント）の中には、カプセル、錠剤等の医薬品と類似した形状で発売されているものも多く、誤った使用法により健康被害を生じた例も報告されている。
- c 特定保健用食品については、通常の食品では表示できない特定の保健機能の表示を行うことができる。

	a	b	c
1	正	正	正
2	正	誤	正
3	誤	正	正
4	正	正	誤

3. 小児等が医薬品を使用する場合に留意すべきことに関する記述の正誤について、**正しい組み合わせ**を1つ選びなさい。

- a 一般的に、5歳未満の幼児に使用される錠剤やカプセル剤では、服用時に喉につかえやすいので注意するよう添付文書に記載されている。
- b 医薬品の使用上の注意において小児という場合は、おおよその目安として15歳未満の年齢区分が用いられている。
- c 小児は、大人と比べて身体の大きさに対して腸が短く、服用した医薬品の吸収率が相対的に低い。
- d 乳児向けの用法用量が設定されている一般用医薬品であっても、乳児は医薬品の影響を受けやすいため、一般用医薬品による対処よりも、基本的には医師の診療を受けることが優先される。

	a	b	c	d
1	正	正	正	誤
2	正	誤	正	正
3	誤	正	正	正
4	正	正	正	正
5	正	正	誤	正

4. 医薬品のリスク評価に関する記述の正誤について、**正しい組み合わせ**を1つ選びなさい。

- a 医薬品の効果とリスクは、薬物暴露時間と暴露量との積で表現される用量-反応関係に基づいて評価される。
- b 動物実験で求められる50%致死量(LD50)は、薬物の有効性の指標として用いられる。
- c 治療量を超えた量を単回投与する場合に、毒性が発現するおそれが高くなるが、投与量が少量であれば長期投与された場合でも、毒性が発現することはない。
- d 医薬品に対しては、製造販売後の調査及び試験の実施基準としてGood Vigilance Practice (GVP)が制定されている。

	a	b	c	d
1	誤	誤	誤	正
2	誤	誤	正	誤
3	誤	正	誤	誤
4	正	正	正	正
5	正	誤	誤	誤

5. 次の記述は医薬品の副作用に関するものである。( )にあてはまる字句として、**正しいものの組み合わせ**を1つ選びなさい。

世界保健機関（WHO）の定義によれば、医薬品の副作用とは、「疾病の（ a ）、診断、治療のため、又は身体の機能を正常化するために、人に（ b ）量で発現する医薬品の有害かつ（ c ）反応」とされている。

	a	b	c
1	予防	通常用いられる	意図しない
2	検査	用いられる最小	意図しない
3	検査	通常用いられる	予測できる
4	予防	用いられる最小	予測できる
5	予防	用いられる最小	意図しない

6. 医薬品の副作用に関する記述の正誤について、**正しい組み合わせ**を1つ選びなさい。

- a 医薬品は、十分注意して適正に使用された場合であっても、副作用が生じることがある。
- b 一般用医薬品は、副作用の兆候が現れたときには使用を中止するだけでよく、医師、薬剤師などに相談する必要はない。
- c 副作用は、血液や内臓機能への影響等のように、直ちに明確な自覚症状として現れないこともある。

	a	b	c
1	正	誤	正
2	正	正	正
3	誤	正	誤
4	誤	誤	正

7. 医薬品の販売等に従事する専門家が購入者から確認しておきたい事項に関する記述の正誤について、**正しい組み合わせ**を1つ選びなさい。

- a その医薬品を使用する人が過去にアレルギーや医薬品による副作用等の経験があるか。
- b その医薬品を使用する人が医療機関で治療を受けていないか。
- c その医薬品を使用する人として、小児や高齢者、妊婦等が想定されるか。
- d 何のためにその医薬品を購入しようとしているか。

	a	b	c	d
1	正	正	正	誤
2	正	誤	正	正
3	誤	正	正	正
4	正	正	正	正
5	正	正	誤	正

8. サリドマイドに関する記述の正誤について、**正しい組み合わせ**を1つ選びなさい。

- a 妊娠している女性がサリドマイド製剤を摂取し、出生児に四肢欠損、耳の障害等の先天異常が発生した。
- b サリドマイドは、鎮静作用を目的として、胃腸薬にも配合されていた。
- c サリドマイド製剤による催奇形性が報告されて、日本ではすぐに販売停止及び回収措置が行われたため、その後の被害拡大が最小限に抑えられた。
- d サリドマイドは、妊娠している女性が摂取した場合、血液-胎盤関門を通過して胎児に移行する。

	a	b	c	d
1	正	誤	誤	正
2	誤	誤	正	誤
3	誤	正	誤	誤
4	正	正	誤	正
5	正	誤	正	誤

9. スモン訴訟に関する記述の正誤について、**正しい組み合わせ**を1つ選びなさい。

- a スモンは、その症状として、初期に腹部の膨満感から激しい腹痛を伴う下痢を生じ、次第に下半身の痺れや脱力、歩行困難等が現れる。
- b サリドマイド訴訟、スモン訴訟を契機として、1979年、医薬品の副作用による健康被害の迅速な救済を図るため、医薬品副作用被害救済制度が創設された。
- c スモン訴訟とは、抗生物質として販売されたペニシリン製剤を使用したことにより、亜急性脊髄視神経症に罹患したことに対する損害賠償訴訟である。

	a	b	c
1	正	誤	正
2	誤	正	正
3	正	正	正
4	正	正	誤

10. アレルギー（過敏反応）に関する記述の正誤について、**正しい組み合わせ**を1つ選びなさい。

- a アレルギーには、体質的な要素はあるが、遺伝的な要素はない。
- b 医薬品の有効成分だけでなく、基本的に薬理作用がない添加物も、アレルギーを引き起こす原因物質（アレルゲン）となり得る。
- c 医薬品の中には、鶏卵や牛乳等を原材料として作られているものがあるが、すべて製造過程でアレルギー対策がなされている。
- d アレルギーは、内服薬だけでなく、外用薬等でも引き起こされることがある。

	a	b	c	d
1	誤	正	誤	誤
2	正	誤	正	正
3	誤	誤	正	誤
4	誤	正	誤	正
5	正	誤	誤	誤

11. C J D (クロイツフェルト・ヤコブ病) に関する記述の正誤について、**正しい組み合わせ**を1つ選びなさい。

- a C J Dは、プリオンが脳の組織に感染し、次第に認知症に類似した症状が現れ、死に至る重篤な神経難病である。
- b C J Dは、細菌の一種であるプリオンが原因とされている。
- c C J Dは、プリオン不活化のための十分な化学的処理が行われなかったヒト乾燥硬膜が製品として流通し、脳外科手術で移植された患者に発生した。
- d C J D訴訟を契機として医薬品・医療機器等安全性情報報告制度が創設された。

	a	b	c	d
1	誤	正	正	誤
2	正	誤	正	誤
3	誤	誤	正	誤
4	誤	正	誤	正
5	正	誤	誤	誤

12. 次の記述はH I V訴訟に関するものである。( ) にあてはまる字句として、**正しいものの組み合わせ**を1つ選びなさい。

H I V訴訟は、( a ) 患者が、ヒト免疫不全ウイルス (H I V) が混入した原料 ( b ) から製造された ( c ) 製剤の投与を受けたことにより、H I Vに感染したことに対する損害賠償訴訟である。

	a	b	c
1	白血病	血漿	血液凝固因子
2	血友病	血小板	アルブミン
3	血友病	血漿	アルブミン
4	白血病	血小板	アルブミン
5	血友病	血漿	血液凝固因子

13. 次の記述は医薬品医療機器等法第4条第5項第4号に規定されている一般用医薬品の定義に関するものである。( )にあてはまる字句として、**正しいものの組み合わせ**を1つ選びなさい。

医薬品のうち、その効能及び効果において人体に対する作用が( a )ものであって、薬剤師その他の医薬関係者から提供された情報に基づく需要者の選択により使用されることが目的とされているもの(( b )を除く。)をいう。

	a	b
1	著しくない	要指導医薬品
2	著しい	要指導医薬品
3	著しくない	第一類医薬品
4	著しい	第一類医薬品

14. 医薬品の不適正な使用と有害事象に関する記述のうち、**正しいものの組み合わせ**を1つ選びなさい。

- a 一般用医薬品には、習慣性・依存性がある成分を含んでいるものはない。
- b 一般用医薬品は、一般の生活者が自らの判断で使用するものであることから、その適正な使用を図っていく上で、販売等に従事する専門家の関与は必要ない。
- c 選択された医薬品が適切ではなく、症状が改善しないまま使用し続けている場合、適切な治療の機会を失うことにもつながりやすい。
- d 医薬品は、その目的とする効果に対して副作用が生じる危険性が最小限となるよう、使用する量や使い方が定められている。

- 1 (a、b)            2 (a、c)            3 (b、d)            4 (c、d)



15. 一般用医薬品の販売時のコミュニケーションに関する記述の正誤について、**正しい組み合わせ**を1つ選びなさい。

- a 医薬品の販売に従事する専門家においては、購入者等が、自分自身や家族の健康に対する責任感を持ち、適切な医薬品を選択して、適正に使用しようとするよう、働きかけていくことが重要である。
- b 購入者が適切な医薬品を選択し、実際にその医薬品を使用する人が必要な注意を払って適正に使用していくためには、医薬品の販売に従事する専門家が、可能な限り、購入者側の個々の状況の把握に努めることが重要となる。
- c 購入者等が医薬品を使用する状況は随時変化する可能性があるため、販売数量は一時期に使用する必要量とする等、販売時のコミュニケーションの機会が継続的に確保されるよう配慮することも重要である。
- d 購入者側に情報提供を受けようとする意識が乏しく、コミュニケーションが成立しがたい場合は、個人のプライバシーに配慮し情報収集・情報提供とも行ってはならない。

	a	b	c	d
1	誤	正	正	正
2	正	正	正	誤
3	正	正	誤	正
4	正	誤	正	正
5	正	誤	正	誤

16. プラセボ効果に関する記述のうち、**正しいものの組み合わせ**を1つ選びなさい。

- a 医薬品を使用したときにもたらされる反応や変化は、薬理作用によるもののほか、プラセボ効果によるものも含まれる。
- b プラセボ効果は、医薬品を使用したこと自体による楽観的な結果への期待や条件付けによる生体反応、時間経過による自然発生的な変化等が関与して生じると考えられている。
- c プラセボ効果は、客観的に測定可能な変化として確実に現れる。
- d プラセボ効果によってもたらされる反応や変化は、望ましいもの（効果）のみである。

1 (a、b)	2 (a、c)	3 (b、d)	4 (c、d)
---------	---------	---------	---------

17. 高齢者の医薬品の使用に関する記述のうち、**正しいものの組み合わせ**を1つ選びなさい。

- a 高齢者は、生理機能の衰えの他、喉の筋肉が衰えて飲食物を飲み込む力が弱まっている（嚥下障害）場合があり、内服薬を使用する際に喉に詰まらせやすい。
- b 高齢者は、持病（基礎疾患）を抱えていることが多く、一般用医薬品の使用によって基礎疾患の症状が悪化したり、治療の妨げとなる場合がある。
- c 一般に高齢者は、生理機能が衰えつつあるが、副作用を生じるリスクは若年時と同等である。
- d 医薬品の使用上の注意においては、おおよその目安として60歳以上を「高齢者」としている。

1 (a、b)            2 (a、c)            3 (b、d)            4 (c、d)

18. 妊婦若しくは妊娠していると思われる女性又は母乳を与える女性（授乳婦）の医薬品の使用に関する記述の正誤について、**正しい組み合わせ**を1つ選びなさい。

- a 母体が医薬品を使用した場合に、血液-胎盤関門によって、どの程度医薬品の成分の胎児への移行が防御されるかは、すべて解明されている。
- b 妊娠の有無やその可能性については、購入者側にとって他人に知られたくない場合もあることから、一般用医薬品の販売等において専門家が情報提供や相談対応を行う際には、十分に配慮することが必要である。
- c ビタミンA含有製剤のように、妊娠前後の一定期間に通常の用量を超えて摂取すると胎児に先天異常を起こす危険性が高まるとされているものがある。
- d 医薬品の種類によっては、授乳婦が使用した医薬品の成分の一部が乳汁中に移行することが知られており、母乳を介して乳児が医薬品の成分を摂取することになる場合がある。

	a	b	c	d
1	誤	正	正	誤
2	誤	正	正	正
3	正	誤	正	正
4	正	正	誤	正
5	誤	誤	正	誤

19. 医薬品と食品の相互作用に関する記述の正誤について、**正しい組み合わせ**を1つ選びなさい。

- a 生薬成分が含まれた食品（ハーブ等）を合わせて摂取すると、生薬成分が配合された医薬品の効き目や副作用を増強させることがある。
- b カフェインを含む医薬品とコーヒーと一緒に服用すると、カフェインの過剰摂取となることがある。
- c 外用薬は、食品によって、その作用や代謝に影響を受けることはない。

	a	b	c
1	正	誤	正
2	誤	正	誤
3	正	正	誤
4	誤	誤	正

20. 医薬品の品質に関する記述の正誤について、**正しい組み合わせ**を1つ選びなさい。

- a 医薬品は、適切な保管・陳列がなされたとしても、経時変化による品質の劣化は避けられない。
- b 医薬品に配合されている成分の中には、適切な保管・陳列がなされなければ、医薬品の効き目が低下したり、人体に好ましくない作用をもたらす物質を生じるものがある。
- c 外箱等に表示されている「使用期限」は、開封・未開封を問わず、製品の品質が保持される期限である。

	a	b	c
1	誤	正	誤
2	正	誤	誤
3	正	正	誤
4	正	誤	正
5	誤	正	正

## Ⅱ 人体の働きと医薬品

21. 肝臓に関する記述の正誤について、**正しい組み合わせ**を1つ選びなさい。

- a 肝臓は、脂溶性ビタミンであるビタミンA、D等のほか、ビタミンB<sub>6</sub>やB<sub>12</sub>等の水溶性ビタミンの貯蔵臓器でもある。
- b ヘモグロビンが分解して生じたアンモニアは、肝臓で代謝されるが、肝機能障害や胆管閉塞などを起こすとアンモニアが循環血液中に滞留して、黄疸を生じる。
- c アミノ酸が分解された場合等に生成するアンモニアは、肝臓において酢酸へと代謝される。
- d アルコールによる二日酔いの症状は、肝臓で代謝されて生じた中間代謝物である尿素の毒性によるものと考えられている。

	a	b	c	d
1	正	誤	正	誤
2	正	正	誤	誤
3	正	誤	誤	誤
4	誤	正	誤	正
5	誤	正	正	正

22. 目に関する記述のうち、**正しいものの組み合わせ**を1つ選びなさい。

- a 水晶体の前には虹彩があり、瞳孔を散大・縮小させて眼球内に入る光の量を調節している。
- b わずかな光でも敏感に反応する視細胞が、光を感じる反応には、ビタミンDが不可欠である。
- c 結膜は、眼瞼（まぶた）の裏側と眼球前方の強膜（白目の部分）とを結ぶように覆って組織を保護している。
- d 角膜と水晶体の間は、涙液で満たされ、角膜に一定の圧を生じさせている。

1 (a、b)	2 (a、c)	3 (b、d)	4 (c、d)
---------	---------	---------	---------

23. 呼吸器系に関する記述の正誤について、**正しい組み合わせ**を1つ選びなさい。

- a 鼻腔内に物理的又は化学的な刺激を受けると、反射的にくしゃみ起きて激しい呼気とともに刺激の原因物を排出しようとする。
- b 咽頭の後壁にある扁桃は、リンパ組織が集まってできており、気道に侵入してくる細菌、ウイルス等に対する免疫反応が行われる。
- c 喉頭から肺へ向かう気道が左右の肺へ分岐するまでの部分を気管といい、そこから肺の中で複数に枝分かれする部分を気管支という。
- d 肺胞の壁は非常に薄くできていて、周囲を毛細血管が取り囲んでおり、この壁を介してガス交換が行われる。

	a	b	c	d
1	誤	正	誤	誤
2	正	誤	誤	正
3	正	誤	正	正
4	誤	正	正	誤
5	正	正	正	正

24. 大腸に関する記述の正誤について、**正しい組み合わせ**を1つ選びなさい。

- a 大腸の腸内細菌は、生体の細胞膜の酸化予防や過酸化脂質の抑制に必要なビタミンK等を産生している。
- b 腸内細菌による発酵で、糞便の臭気の原因となる物質やメタン、二酸化炭素等のガスが生成される。
- c 大腸は、栄養分の吸収に重要な器官であるため、内壁の表面積を大きくする構造を持つ。
- d 大腸では、水分とナトリウム、カリウム、リン酸等の電解質の吸収が行われている。

	a	b	c	d
1	誤	正	正	誤
2	正	正	誤	誤
3	正	誤	誤	正
4	誤	正	誤	正
5	誤	誤	正	正

25. 外皮系に関する記述のうち、**正しいものの組み合わせ**を1つ選びなさい。

- a 皮膚は、表皮、真皮、皮下組織の3層からなり、表皮は最も外側にある角質層と生きた表皮細胞の層に分けられる。
- b 皮膚の色は、メラニン色素によるものであり、皮膚組織が太陽光の紫外線によって損傷を受けるとメラニン色素の産生が阻害されて、皮膚組織は白色を呈する。
- c 皮膚の主な機能は、身体の維持と保護、体水分の保持、熱交換、外界情報の感知である。
- d 汗腺には、アポクリン腺とエクリン腺の2種類があり、アポクリン腺は手のひらなど毛根がないところも含め全身に分布する。

1 (a、b)            2 (a、c)            3 (b、d)            4 (c、d)

26. 消化器系に関する記述の正誤について、**正しい組み合わせ**を1つ選びなさい。

- a 胃粘液に含まれる成分は、小腸におけるビタミンB<sub>6</sub>の吸収に重要な役割を果たしている。
- b ペプシノーゲンとは、胃酸によってタンパク質を消化する酵素であるペプシンとなり、胃酸とともに胃液として働く。
- c 小腸の運動によって、内容物が消化液（膵液、胆汁、腸液）と混和されながら大腸へと送られ、その間に消化と栄養分の吸収が行われる。
- d 十二指腸の彎曲部には、膵臓からの膵管と胆嚢からの胆管の開口部があって、それぞれ膵液と胆汁を腸管内へ送り込んでいる。

	a	b	c	d
1	正	正	正	正
2	正	正	誤	誤
3	正	誤	誤	誤
4	誤	正	正	正
5	誤	誤	正	正

27. 循環器系に関する記述の正誤について、**正しい組み合わせ**を1つ選びなさい。

- a 体液（血液やリンパ液）を体内に循環させ、酸素、栄養分等を全身の組織へ送り、老廃物を排泄器官へ運ぶための器官系である。
- b 血小板は、損傷した血管からの血液の流出を抑える仕組みにおいて重要な役割を担っている。
- c リンパ液の流れは、主に骨格筋の収縮によるものであり、流速は血流に比べて緩やかである。
- d 体内で発生した温熱が、血液の循環によって、体表、肺、四肢の末端等に分配され、全身の温度をある程度均等に保つのに役立っている。

	a	b	c	d
1	正	誤	誤	正
2	正	正	誤	正
3	正	正	正	正
4	誤	正	正	誤
5	誤	誤	正	誤

28. 泌尿器系に関する記述の正誤について、**正しい組み合わせ**を1つ選びなさい。

- a 副腎皮質では、自律神経系に作用するアドレナリンとノルアドレナリンが産生・分泌される。
- b 腎臓は、内分泌腺としての機能を持ち、骨髄における赤血球の産生を促進させるホルモンを分泌する。
- c 腎臓に入る動脈は、細かく枝分かれして、毛細血管が小さな球状になった糸球体を形成する。
- d 腎臓には、心臓から拍出される血液の1/5～1/4が流れており、血圧を一定範囲内に保つ役割を担っている。

	a	b	c	d
1	誤	正	正	誤
2	正	誤	誤	正
3	正	誤	誤	誤
4	誤	正	正	正
5	正	正	正	正

29. 口腔に関する記述の正誤について、**正しい組み合わせ**を1つ選びなさい。

- a 歯冠の表面は、エナメル質で覆われ、体で最も硬い部分となっている。
- b 舌の表面には、舌乳頭という無数の小さな突起があり、味覚を感知する部位である味蕾が分布している。
- c 唾液は、リゾチーム等の殺菌・抗菌物質を含んでおり、口腔粘膜の保護・洗浄、殺菌等の作用がある。
- d 唾液によって口腔内は、pHがアルカリ性に保たれ、酸による歯の齲蝕を防いでいる。

	a	b	c	d
1	正	正	正	誤
2	正	正	誤	誤
3	正	誤	誤	正
4	誤	正	正	正
5	誤	誤	正	正

30. 耳に関する記述の正誤について、**正しい組み合わせ**を1つ選びなさい。

- a 聴覚情報と平衡感覚を感知する器官で、外耳、中耳、内耳からなる。
- b 小さな子供の耳管は、太く短く、走行は水平に近いので、鼻腔からウイルスや細菌が入りやすく感染が起こりやすい。
- c 蝸牛は、水平・垂直方向の加速度を感知する部分であり、前庭は、体の回転や傾きを感知する部分である。

	a	b	c
1	正	正	誤
2	正	誤	誤
3	誤	正	正
4	誤	誤	正



31. 筋組織に関する記述の正誤について、**正しい組み合わせ**を1つ選びなさい。

- a 筋組織は、筋細胞と結合組織からできている。
- b 筋組織は、その機能や形態によって、骨格筋、平滑筋、心筋に分類され、このうち骨格筋は運動器官とされている。
- c 平滑筋は、随意筋である。
- d 骨格筋の筋線維を顕微鏡で観察すると横縞模様が見える。

	a	b	c	d
1	誤	正	正	誤
2	正	正	正	正
3	誤	誤	正	誤
4	正	誤	誤	正
5	正	正	誤	正

32. 医薬品の吸収・代謝・排泄に関する記述の正誤について、**正しい組み合わせ**を1つ選びなさい。

- a 肝臓の機能が低下した人では、正常な人に比べて医薬品の効き目が過剰に現れることがある。
- b 鼻腔粘膜を介して吸収された薬物は、初めに肝臓で代謝を受けることなく、全身に分布する。
- c 医薬品の成分によっては、未変化体又は代謝物として、腎臓から尿中へ、肝臓から胆汁中へ、又は肺から呼気中へ排出される。
- d 循環血液中に移行した医薬品成分は、体内を循環するうちに徐々に代謝を受けて、体外へ排泄されやすい脂溶性の物質に変化する。

	a	b	c	d
1	誤	誤	正	誤
2	正	正	正	誤
3	正	誤	誤	正
4	誤	正	誤	正
5	正	正	正	正

33. 医薬品の吸収に関する記述の正誤について、**正しい組み合わせ**を1つ選びなさい。

- a 内服薬のうち、錠剤、カプセル剤等の固形剤は、腸溶性製剤のような特殊なものを除き、胃で有効成分が溶出するものが大部分である。
- b 点眼薬は、鼻涙管を通して鼻粘膜から吸収されることがあるため、眼以外の部位に到達して副作用を起こすことがある。
- c 坐剤は、内服の場合よりも全身作用がゆっくり現れる。

	a	b	c
1	正	誤	正
2	正	正	誤
3	誤	正	正
4	正	正	正

34. 皮膚粘膜眼症候群（スティーブンス・ジョンソン症候群）及び中毒性表皮壊死融解症（TEN）に関する記述の正誤について、**正しい組み合わせ**を1つ選びなさい。

- a 皮膚粘膜眼症候群及び中毒性表皮壊死融解症のいずれもが、発生は非常にまれであるとはいえ、一旦発症すると多臓器障害の合併症等により致命的な転帰をたどることがある。
- b 中毒性表皮壊死融解症の症例の多くは、皮膚粘膜眼症候群の進展型とみられている。
- c 皮膚粘膜眼症候群は、38℃以上の高熱を伴って、発疹・発赤、火傷様の水疱等の激しい症状が比較的短時間のうちに全身の皮膚、口、眼等の粘膜に現れる。
- d 皮膚粘膜眼症候群及び中毒性表皮壊死融解症はいずれも、発症機序が解明されており、発症を予測することは可能となっている。

	a	b	c	d
1	誤	正	正	誤
2	正	正	誤	誤
3	正	誤	誤	正
4	正	正	正	誤
5	誤	誤	正	正

35. 皮膚に現れる副作用に関する記述のうち、**正しいものの組み合わせ**を1つ選びなさい。

- a 接触皮膚炎は、いわゆる「肌に合わない」という状態であり、同じ医薬品が触れても発症するか否かはその人の体質によって異なる。
- b 接触皮膚炎の症状が現れたときは、重篤な病態への進行を防止するため、原因と考えられる医薬品の使用を中止する。
- c 光線過敏症が現れた場合は、原因と考えられる医薬品の使用を中止し、患部は洗浄せずそのままの状態、白い生地や薄手の服で遮光し、速やかに医師の治療を受ける必要がある。
- d 以前、薬疹を経験したことがある人は、再度同種の医薬品を使用しても、副作用を生じることはない。

1 (a、b)            2 (a、c)            3 (b、d)            4 (c、d)

36. 泌尿器系に現れる副作用に関する記述の正誤について、**正しい組み合わせ**を1つ選びなさい。

- a 腎障害によって現れる症状としては、浮腫、発熱、倦怠感、発疹等がある。
- b 排尿困難は、前立腺肥大等の基礎疾患がない場合にも現れることがある。
- c 膀胱炎様症状としては、頻尿、排尿時の疼痛、残尿感等がある。

	a	b	c
1	正	誤	正
2	正	正	誤
3	誤	正	正
4	正	正	正

37. 副作用として現れる症状に関する記述の正誤について、**正しい組み合わせ**を1つ選びなさい。

- a 偽アルドステロン症は、体内にカリウムと水が貯留し、体からナトリウムが失われることによって生じる病態である。
- b 間質性肺炎は、息切れ・息苦しさ等の呼吸困難、空咳（痰の出ない咳）等の症状を呈する。
- c 無菌性髄膜炎は、多くの場合、発症は急性で、首筋のつっぱりを伴った激しい頭痛、発熱、吐きけ・嘔吐、意識混濁等の症状が現れる。
- d 抗コリン作用がある成分が配合された医薬品によって、眼圧が上昇し、眼痛や眼の充血に加え、急激な視力低下を来すことがある。

	a	b	c	d
1	正	誤	正	誤
2	正	誤	誤	誤
3	誤	正	正	正
4	誤	正	誤	正
5	正	正	正	正

38. 副作用として現れるショック（アナフィラキシー）に関する記述のうち、**正しいものの組み合わせ**を1つ選びなさい。

- a うがい薬は、咽頭粘膜ではほとんど吸収されないため、アナフィラキシーが起こることはない。
- b 発症後の進行が非常に遅いことが特徴である。
- c 適切な対応が遅れるとチアノーゼや呼吸困難を生じることがある。
- d アナフィラキシー様症状という呼称は、初めて使用した医薬品で起きる場合等を含み、その原因がアレルギーかどうかははっきりしない場合に用いられる。

1 (a、b)	2 (a、c)	3 (b、d)	4 (c、d)
---------	---------	---------	---------

39. 脳や神経系に関する記述の正誤について、**正しい組み合わせ**を1つ選びなさい。

- a 通常、交感神経系と副交感神経系は、互いに拮抗して働き、一方が活発になっているときには他方は活動を抑制して、効果を及ぼす各臓器・器官（効果器）を制御している。
- b 脳の下部には、自律神経系、ホルモン分泌等の様々な調節機能を担っている部位（視床下部等）がある。
- c 脊髄は脊椎の中にあり、脳と末梢の間で刺激を伝えるほか、末梢からの刺激の一部に対して脳を介さずに刺激を返す場合がある。

	a	b	c
1	正	正	正
2	正	正	誤
3	正	誤	正
4	誤	正	正

40. 医薬品の剤形に関する記述の正誤について、**正しい組み合わせ**を1つ選びなさい。

- a 錠剤（内服）は、胃や腸で崩壊し、有効成分が溶出することが薬効発現の前提となるため、例外的な場合を除いて、口中で噛み砕いて服用してはならない。
- b 口腔内崩壊錠は、口の中の唾液で速やかに溶ける工夫がなされているため、水なしで服用することができる。
- c カプセル剤は、水なしで服用するとカプセルの原材料であるゼラチンが喉や食道に貼り付くことがある。
- d チュアブル錠は、口の中で舐めたり噛み砕いたりして服用する剤形であり、水なしで服用することができる。

	a	b	c	d
1	正	正	正	誤
2	正	正	誤	正
3	正	誤	正	正
4	誤	正	正	正
5	正	正	正	正

### Ⅲ 薬事に関する法規と制度

41. 次の記述は、医薬品医療機器等法第1条の条文である。( )にあてはまる字句として、**正しいものの組み合わせ**を1つ選びなさい。なお、同じ記号の( )内には同じ字句が入る。

この法律は、医薬品、医薬部外品、化粧品、医療機器及び( a ) (以下「医薬品等」という。)の品質、有効性及び安全性の確保並びにこれらの使用による保健衛生上の危害の発生及び拡大の防止のために必要な規制を行うとともに、( b )の規制に関する措置を講ずるほか、( c )上特にその必要性が高い医薬品、医療機器及び( a )の研究開発の促進のために必要な措置を講ずることにより、保健衛生の向上を図ることを目的とする。

	a	b	c
1	再生医療等製品	危険ドラッグ	医療
2	再生医療等製品	指定薬物	医療
3	再生医療等製品	指定薬物	公衆衛生
4	生物由来製品	指定薬物	公衆衛生
5	生物由来製品	危険ドラッグ	公衆衛生

42. 一般用医薬品に関する記述の正誤について、**正しい組み合わせ**を1つ選びなさい。

- a 日本薬局方に収載されている医薬品の中に、一般用医薬品として販売されているものはない。
- b 第三類医薬品に分類されている医薬品は、第一類医薬品に分類が変更されることがある。
- c 生物由来製品として指定された一般用医薬品がある。

	a	b	c
1	正	正	正
2	正	正	誤
3	正	誤	正
4	誤	正	誤
5	誤	誤	正

43. 一般用医薬品及び要指導医薬品の法定表示事項として、**正しいもの**を1つ選びなさい。

- 1 要指導医薬品にあつては、要指導医薬品である旨を示す識別表示
- 2 一般用医薬品にあつては、一般用医薬品である旨を示す識別表示
- 3 配置販売品目以外の一般用医薬品にあつては、「配置以外」の文字
- 4 第一類医薬品にあつては、枠の中に「1」の数字
- 5 製造業者の氏名又は名称及び住所

44. 濫用のおそれのあるものとして厚生労働大臣が指定する医薬品（平成26年厚生労働省告示第252号）に該当する有効成分として、**正しいものの組み合わせ**を1つ選びなさい。

- a インドメタシン
- b エフェドリン
- c プレドニゾロン
- d プソイドエフェドリン

- 1 (a、b)            2 (a、c)            3 (b、d)            4 (c、d)

45. 要指導医薬品に関する記述の正誤について、**正しい組み合わせ**を1つ選びなさい。

- a 注射等の侵襲性の高い使用方法で用いられているものはない。
- b 厚生労働大臣が製造販売業者の意見を聴いて指定している。
- c 適正な使用のために登録販売者が対面により、情報の提供及び薬学的知見に基づく指導を行う必要がある。

	a	b	c
1	正	正	誤
2	正	誤	誤
3	正	誤	正
4	誤	正	誤
5	誤	誤	正

46. 化粧品に関する記述の正誤について、**正しい組み合わせ**を1つ選びなさい。

- a その効能効果があらかじめ定められた範囲内であって、成分や用法等に照らして人体に対する作用が緩和であることを要件として、医薬品的な効能効果を表示・標榜することが認められている。
- b 化粧品にはいかなる医薬品の成分も配合することは認められない。
- c 化粧品を業として販売する場合には、化粧品販売業の許可が必要である。

	a	b	c
1	誤	誤	誤
2	誤	誤	正
3	正	誤	正
4	正	正	誤
5	正	正	正

47. 医薬品の販売に関する記述の正誤について、**正しい組み合わせ**を1つ選びなさい。

- a 薬局において一般用医薬品を販売しようとするときは、医薬品の販売業の許可を併せて受けなければならない。
- b 卸売販売業では、一般の生活者に対して医薬品を販売することができない。
- c 薬局、店舗販売業及び卸売販売業では、特定の購入者の求めに応じて医薬品の包装を開封して分割販売することができる。
- d 医薬品販売業の許可は、3年ごとに、その更新を受けなければ、その期間の経過によって、その効力を失う。

	a	b	c	d
1	正	正	正	誤
2	正	誤	正	正
3	正	誤	誤	誤
4	誤	正	正	誤
5	誤	正	誤	正



48. 薬局に関する記述のうち、**正しいものの組み合わせ**を1つ選びなさい。

- a 医薬品医療機器等法において、薬局は薬剤師が販売又は授与の目的で調剤の業務を行う場所（その開設者が医薬品の販売業を併せ行う場合には、その販売業に必要な場所を含む。）と定義されている。
- b 薬局は、厚生労働大臣の許可を受けなければ、開設してはならない。
- c 薬局の管理者は、保健衛生上支障を生ずるおそれがないよう、その薬局に勤務するその他の従業者を監督するなど、薬局の業務につき、必要な注意をしなければならない。
- d 調剤を実施する薬局は、医療法において医療提供施設として位置づけられていない。

- 1 (a、b)            2 (a、c)            3 (b、d)            4 (c、d)

49. 医薬品医療機器等法に基づく行政庁による処分に関する記述の正誤について、**正しい組み合わせ**を1つ選びなさい。

- a 厚生労働大臣は、医薬品による保健衛生上の危害の発生を防止するため必要があると認めるときは、薬局開設者に対して、医薬品の販売を一時停止することを命ずることができる。（法第69条の3）
- b 厚生労働大臣は、薬局開設者に対して、一般用医薬品の販売等を行うための業務体制が基準に適合しなくなった場合、その業務体制の整備を命ずることができる。（法第72条の2）
- c 都道府県知事は、配置販売業の配置員が、その業務に関し、薬事に関する法令又はこれに基づく処分に違反する行為があったときは、その配置販売業者に対して、期間を定めてその配置員による配置販売の業務の停止を命ずることができる。（法第74条）

	a	b	c
1	正	正	誤
2	正	誤	誤
3	正	誤	正
4	誤	正	誤
5	誤	誤	正

50. 配置販売業に関する記述のうち、**正しいものの組み合わせ**を1つ選びなさい。

- a 配置販売業の許可は、申請者が居住する都道府県から許可を受ければ、全国で配置販売を行うことができる。
- b 配置販売業者又はその配置員は、配置販売業者の氏名及び住所、配置販売に従事する者の氏名及び住所並びに区域及びその期間を、配置販売に従事している区域の都道府県知事に対し、配置販売を始めた日から30日以内に届け出なければならない。
- c 配置販売業者は、一般用医薬品のうち経年変化が起こりにくいこと等の基準（配置販売品目基準（平成21年厚生労働省告示第26号））に適合するもの以外の医薬品を販売等してはならない。
- d 配置販売業者又はその配置員は、その住所地の都道府県知事が発行する身分証明書の交付を受け、かつ、これを携帯しなければ、医薬品の配置販売に従事してはならない。

1 (a、b)            2 (a、c)            3 (b、d)            4 (c、d)

51. 医薬品の陳列に関する記述の正誤について、**正しい組み合わせ**を1つ選びなさい。

- a 店舗販売業者は、要指導医薬品及び一般用医薬品を混在させて陳列してもよい。
- b 薬局開設者は、開店時間のうち、要指導医薬品又は一般用医薬品を販売し、又は授与しない時間は、要指導医薬品又は一般用医薬品を通常陳列し、又は交付する場所を閉鎖しなければならない。
- c 配置販売業者は、第一類医薬品、第二類医薬品及び第三類医薬品を混在させないように配置しなければならない。

	a	b	c
1	正	正	正
2	正	正	誤
3	正	誤	誤
4	誤	正	正
5	誤	誤	正

52. リスク区分に応じた情報提供等に関する記述の正誤について、**正しい組み合わせ**を1つ選びなさい。なお、本設問において、「薬剤師等」とは、薬剤師、薬局開設者、医薬品の製造販売業者、製造業者若しくは販売業者、医師、歯科医師若しくは獣医師又は病院、診療所若しくは飼育動物診療施設の開設者とする。

- a 薬局開設者又は店舗販売業者は、指定第二类医薬品を販売又は授与する場合には、当該指定第二类医薬品を購入しようとする者等が、禁忌事項を確認すること及び当該医薬品の使用について薬剤師又は登録販売者に相談することを勧める旨を確実に認識できるようにするために必要な措置を講じなければならない。
- b 薬局開設者又は店舗販売業者には、指定第二类医薬品について、薬剤師又は登録販売者による積極的な情報提供の機会がより確保されるよう、陳列方法を工夫する等の対応が求められる。
- c 要指導医薬品を購入しようとする者（薬剤師等を除く）から説明を要しない旨の意思の表明があった場合において、当該要指導医薬品が適正に使用されると認められると薬剤師が判断した場合には、情報提供をせずに販売することができる。

	a	b	c
1	正	正	正
2	正	正	誤
3	正	誤	正
4	誤	正	誤
5	誤	誤	正

53. 医薬品の販売方法等に関する記述の正誤について、**正しい組み合わせ**を1つ選びなさい。

- a 医薬品を懸賞や景品として授与することは、サンプル品（試供品）を提供するような場合を除き、原則として認められていない。
- b 効能効果が重複するような医薬品を組み合わせで販売又は授与することは、購入者の利便性を高めるため推奨されている。
- c 薬局及び店舗販売業において、許可を受けた薬局又は店舗以外の場所（出張所、連絡所等）に医薬品を販売若しくは授与の目的で貯蔵又は陳列する行為は認められている。
- d 配置販売業において、医薬品を先用後利によらず現金売りを行うことは、配置による販売行為に当たらないため認められていない。

	a	b	c	d
1	誤	正	正	誤
2	正	正	誤	誤
3	誤	正	正	正
4	正	誤	誤	正
5	正	誤	正	誤

54. 店舗販売業者が、要指導医薬品又は第一類医薬品を販売したときに、書面に記載しなければならない事項として医薬品医療機器等法施行規則第146条第2項に**規定されていないもの**を一つ選びなさい。

- 1 販売した日時
- 2 販売した薬剤師の氏名、情報提供を行った薬剤師の氏名
- 3 医薬品の購入者の氏名
- 4 医薬品の購入者等が情報提供の内容を理解したことの確認の結果

55. 薬局における特定販売に関する記述の正誤について、**正しい組み合わせ**を1つ選びなさい。

- a 特定販売を行うときは、特定販売を行っている当該薬局に貯蔵又は陳列している医薬品を販売しなければならない。
- b すべての薬局製造販売医薬品は、特定販売の方法により販売することができない。
- c 特定販売の方法により一般用医薬品を購入しようとする者から、対面又は電話により相談応需の希望があった場合であっても、薬局開設者は、薬剤師又は登録販売者に対面又は電話による情報提供を行わせる必要はない。
- d 特定販売を行うことについてインターネットを利用して広告をするときは、都道府県知事及び厚生労働大臣が容易に閲覧することができるホームページで行わなければならない。

	a	b	c	d
1	正	正	誤	誤
2	正	誤	正	正
3	正	誤	誤	正
4	誤	正	正	誤
5	誤	正	誤	正

56. 次の栄養成分のうち、栄養機能食品の注意喚起表示に「多量に摂取すると軟便（下痢）になることがあります。」との記載が**必要なもの**を1つ選びなさい。

- 1 亜鉛
- 2 銅
- 3 マグネシウム
- 4 ビタミンA

57. 「医薬品の範囲に関する基準」に関する記述のうち、**正しいものの組み合わせ**を1つ選びなさい。

- a 外形上、食品として販売されている製品であっても、その成分本質（原材料）、  
効能効果の標榜内容等に照らして医薬品とみなされることがある。
- b 専ら医薬品として使用される成分本質（原材料）が製品から実際に検出されなく  
ても、含有又は配合されている旨が標榜・表示されている場合には、医薬品とみな  
されることがある。
- c 医薬品的な効能効果をパンフレット等の広告宣伝物に記載しただけでは医薬品と  
みなされることはない。
- d カプセル剤の形状の物は、すべて医薬品とみなされる。

1 (a、b)            2 (a、c)            3 (b、d)            4 (c、d)

58. 毒薬・劇薬に関する記述の正誤について、**正しい組み合わせ**を1つ選びなさい。

- a 劇薬については、それを収める直接の容器又は被包に赤地に白枠、白字をもって、  
当該医薬品の品名及び「劇薬」の文字が記載されていなければならない。
- b 毒薬及び劇薬は、単に毒性、劇性が強いものだけでなく、薬効が期待される摂取  
量（薬用量）と中毒のおそれがある摂取量（中毒量）が接近しており安全域が狭い  
ため、その取扱いに注意を要するもの等が指定されている。
- c 一般用医薬品で毒薬又は劇薬に該当するものはない。

	a	b	c
1	正	誤	誤
2	誤	誤	正
3	正	誤	正
4	誤	正	正
5	誤	正	誤

59. 医薬部外品に関する記述の正誤について、**正しい組み合わせ**を1つ選びなさい。

- a 医薬部外品を製造販売する場合には、製造販売業の許可が必要である。
- b 化粧品としての使用目的を有する製品について、医薬品的な効能効果を表示・標榜しようとする場合には、その効能効果があらかじめ定められた範囲内であって、人体に対する作用が緩和であるものに限り、薬用化粧品類等として承認されている。
- c 医薬品から医薬部外品へ移行された製品の容器等には、識別表示はされていない。

	a	b	c
1	正	正	正
2	正	正	誤
3	正	誤	正
4	誤	正	正
5	誤	誤	誤

60. 医薬品の容器等（直接の容器又は被包）又は外箱等（外部の容器又は被包）への記載事項に関する記述の正誤について、**正しい組み合わせ**を1つ選びなさい。

- a 医薬品の容器等が小売りのために包装されている場合において、医薬品医療機器等法で定められた容器等への記載が、外箱等を透かして容易に見ることができないときには、その外箱等にも同様の事項が記載されていなければならない。
- b 医薬品は、その添付文書、容器等又は外箱等に、当該医薬品に関する最新の論文その他により得られた知見に基づき、用法、用量その他使用及び取扱い上必要な注意等が記載されていなければならない。
- c 医薬品に添付する文書、その容器等又は外箱等に記載されてはならない事項の一つに「保健衛生上危険がある用法、用量又は使用期間」がある。
- d 海外で製造された医薬品は、法定表示事項が邦文で記載されていなくても国内流通させることができる。

	a	b	c	d
1	正	正	正	正
2	正	正	正	誤
3	正	誤	誤	正
4	誤	正	誤	誤
5	誤	誤	正	誤

# 平成28年度 登録販売者試験

## 午後の部

### 【 注 意 事 項 】

- 1 試験問題は、Ⅳ 主な医薬品とその作用（40問）  
Ⅴ 医薬品の適正使用と安全対策（20問）  
の2科目、60問です。全てに解答してください。
- 2 試験時間は午後1時30分から午後3時30分までの2時間です。
- 3 本試験はマークシート方式です。  
解答用紙に受験番号（J161以下の4桁の数字）を正しくマークし、氏名及び受験番号も忘れずに記入してください。

受験番号を誤ってマークした場合や、マークしていない場合は、不合格となる場合があります。

<記入例1> 受験番号がJ1619012の場合

J	受 験 番 号									
1	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
6	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
1	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
9	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
0	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>
1	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
2	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

- ・マークの際には0、1、9の位置を十分確認してください。
- ・受験番号、氏名も忘れずに記入してください。

- 4 答えは、番号を選び、必ず解答用紙に記入してください。  
答えは、1問につき1つしかないので、2つ以上マークすると不正解になります。  
解答用紙は、直接機械にかけて読み取りますので、折り曲げたり、汚さないよう、注意してください。  
誤って記入した場合は、跡が残らないように消しゴムできれいに消してください。  
消し跡が残っていたり、マーク欄が汚れていると不正解になることがあります。

<記入例2>

例題 奈良県庁の所在地について、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 奈良市
- 2 大和郡山市
- 3 橿原市
- 4 大和高田市

1	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
---	----------------------------------	-----------------------	-----------------------	-----------------------

正解は「1 奈良市」なので、上のようにマークしてください。

- 5 本試験では、「医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律」を「医薬品医療機器等法」、「医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律施行令」を「医薬品医療機器等法施行令」、「医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律施行規則」を「医薬品医療機器等法施行規則」とします。
- 6 問題用紙は、持ち帰ってかまいません。

指示があるまで開いてはいけません



## IV 主な医薬品とその作用

61. かぜ及びかぜ薬に関する記述の正誤について、**正しい組み合わせ**を1つ選びなさい。
- a かぜとよく似た症状が現れる疾患は多数あり、急激な発熱を伴う場合や、症状が4日以上続くとき、又は症状が重篤なときは、かぜではない可能性が高い。
  - b かぜ薬は、咳で眠れなかったり、発熱で体力を消耗しそうなどきに、それら諸症状の緩和を図るだけでなく、ウイルスの増殖を抑えたり、ウイルスを体内から除去するものである。
  - c ウイルスによるかぜは、生体に備わっている免疫機構によってウイルスが消滅すれば自然に治癒する。

	a	b	c
1	正	正	正
2	正	誤	誤
3	正	誤	正
4	誤	正	正
5	誤	正	誤

62. 漢方処方製剤に関する記述の正誤について、**正しい組み合わせ**を1つ選びなさい。

- a 桂枝湯は、体力虚弱で、汗が出るもののかぜの初期に適すとされる。
- b 小青竜湯は、体力中等度又はやや虚弱で、うすい水様の痰を伴う咳や鼻水が出るものの気管支炎、気管支喘息、鼻炎、アレルギー性鼻炎、むくみ、感冒、花粉症に適すとされるが、体の虚弱な人（体力の衰えている人、体の弱い人）、胃腸の弱い人、発汗傾向の著しい人では、悪心、胃部不快感等の副作用が現れやすい等、不向きとされる。
- c 小柴胡湯は、インターフェロン製剤で治療を受けている人では、間質性肺炎の副作用が現れるおそれが高まる。
- d 葛根湯は、体力中等度以上のものの感冒の初期（汗をかいていないもの）、鼻かぜ、鼻炎、頭痛、肩こり、筋肉痛、手や肩の痛みに適すとされるが、体の虚弱な人（体力の衰えている人、体の弱い人）、胃腸の弱い人、発汗傾向の著しい人では、悪心、胃部不快感等の副作用が現れやすい等、不向きとされる。

	a	b	c	d
1	正	誤	正	正
2	正	正	誤	誤
3	正	正	正	正
4	誤	誤	正	誤
5	誤	正	誤	正

63. 解熱鎮痛薬に関する記述の正誤について、**正しい組み合わせ**を1つ選びなさい。

- a 解熱鎮痛薬の連用により頭痛が常態化することがあるので注意を要する。
- b 解熱鎮痛薬とは、発熱や痛みの原因となっている病気や外傷を根本的に治すものではなく、病気や外傷が原因で生じている発熱や痛みを緩和するために使用される医薬品（内服薬）の総称である。
- c 多くの解熱鎮痛薬には、体内におけるプロスタグランジンの産生を促す成分が配合されている。

	a	b	c
1	正	正	誤
2	正	誤	正
3	正	誤	誤
4	誤	誤	正
5	誤	正	誤

64. 解熱鎮痛薬の配合成分に関する記述の正誤について、**正しい組み合わせ**を1つ選びなさい。

- a イブプロフェンは、胃・十二指腸潰瘍、潰瘍性大腸炎又はクローン氏病の既往歴がある人において、それらの疾患の再発を招くおそれがある。
- b 現在では、サザピリンが一般用医薬品で唯一のピリン系解熱鎮痛成分となっている。
- c アスピリン喘息は、アスピリン特有の副作用であり、他の解熱鎮痛成分では発現しない。

	a	b	c
1	正	正	正
2	正	誤	誤
3	誤	正	正
4	誤	誤	誤

65. 眠気を促す薬に関する記述の正誤について、**正しい組み合わせ**を1つ選びなさい。

- a 加味帰脾湯は、体力中等度以下で、心身が疲れ、血色が悪く、ときに熱感を伴うものの貧血、不眠症、精神不安、神経症に適すとされる。
- b 酸棗仁湯は、症状の原因となる体質の改善を主眼としているため、必ず1ヶ月以上継続して服用する必要がある。
- c 妊娠中にしばしば生じる睡眠障害は、抗ヒスタミン成分を主薬とする睡眠改善薬の適用対象である。

	a	b	c
1	正	誤	正
2	正	正	誤
3	正	誤	誤
4	誤	誤	正
5	誤	正	誤

66. カフェインに関する記述の正誤について、**正しい組み合わせ**を1つ選びなさい。

- a 脳に軽い興奮状態を引き起こす作用がある。
- b 胃液分泌亢進作用があり、その結果、副作用として胃腸障害（食欲不振、悪心・嘔吐）が現れることがある。
- c 腎臓におけるナトリウムイオンの再吸収促進作用がある。

	a	b	c
1	正	誤	正
2	正	正	誤
3	正	誤	誤
4	誤	誤	正
5	誤	正	誤

67. 鎮暈薬（乗物酔い防止薬）の配合成分に関する記述の正誤について、**正しい組み合わせ**を1つ選びなさい。

- a メクリジン塩酸塩は、他の抗ヒスタミン成分と比べて作用が現れるのが遅く、持続時間が長い。
- b ジフェニドール塩酸塩は、排尿困難の症状がある人や緑内障の診断を受けた人では、その症状を悪化させるおそれがある。
- c 抗コリン成分であるスコポラミン臭化水素酸塩は、肝臓での代謝が遅いため、抗ヒスタミン成分と比べて作用の持続時間は長い。

	a	b	c
1	正	誤	正
2	正	誤	誤
3	正	正	誤
4	誤	正	正
5	誤	正	誤

68. 小児の疳を適応症とする生薬製剤・漢方処方製剤（小児鎮静薬）に関する記述の正誤について、**正しい組み合わせ**を1つ選びなさい。

- a 漢方処方製剤は、用法用量において適用年齢の下限が設けられていないため、生後1ヶ月の乳児に使用しても問題はない。
- b 小児鎮静薬は、夜泣き、ひきつけ、疳の虫等の症状を鎮めるほか、小児における虚弱体質、消化不良等の改善を目的とする医薬品である。
- c 主な漢方処方製剤としては、桂枝加竜骨牡蛎湯、抑肝散、小建中湯がある。

	a	b	c
1	正	誤	正
2	正	正	誤
3	正	誤	誤
4	誤	正	正
5	誤	正	誤

69. 次の鎮咳去痰薬に配合されるコデインリン酸塩に関する記述のうち、**誤っているもの**を1つ選びなさい。

- 1 交感神経を刺激して気管支を拡張させる作用により、呼吸を楽にして咳や喘息の症状を鎮めることを目的に用いられる。
- 2 妊娠中に服用すると、一部が血液-胎盤関門を通過して胎児へ移行することが知られている。
- 3 作用本体であるコデインは、モルヒネと同じ基本構造を持ち、依存性がある成分であり、麻薬性鎮咳成分とも呼ばれる。
- 4 副作用として、胃腸運動の低下による便秘が現れることがある。

70. 口腔咽喉薬・含嗽薬に関する記述の正誤について、**正しい組み合わせ**を1つ選びなさい。

- a 含嗽薬は、使用後すぐに食事を摂ると、殺菌消毒効果が薄れやすい。
- b 口腔咽喉薬・含嗽薬は、口腔内や咽頭における局所的な作用を目的とする医薬品であるが、成分の一部が口腔や咽頭の粘膜から吸収されて全身的な影響を生じることがある。
- c 咽頭の粘膜に付着したアレルギーによる喉の不快感等の症状を鎮めることを目的として、抗ヒスタミン成分が配合されている場合がある。
- d セチルピリジニウム塩化物、デカリニウム塩化物は、芳香による清涼感を目的として、配合されている。

	a	b	c	d
1	正	誤	正	正
2	正	正	正	誤
3	誤	誤	正	正
4	正	正	誤	正
5	誤	正	誤	誤

71. 健胃薬の配合成分に関する記述の正誤について、**正しい組み合わせ**を1つ選びなさい。

- a センブリは、リンドウ科のセンブリの開花期の全草を基原とする生薬で、苦味による健胃作用を期待して用いられる。
- b リュウタンは、クマ科のヒグマその他近縁動物の胆汁を乾燥したものを基原とする生薬で、苦味による健胃作用を期待して用いられるほか、消化補助成分として配合される場合もある。
- c オウレン末は、苦味による健胃作用を期待して用いられるほか、止瀉薬としても用いられる。
- d ケイヒは、クスノキ科のシンナモムム・カシヤの樹皮又は周皮の一部を除いたものを基原とする生薬で、香りによる健胃作用を期待して用いられる。

	a	b	c	d
1	正	正	誤	正
2	正	正	誤	誤
3	正	誤	正	正
4	誤	正	正	誤
5	誤	誤	正	正

72. 胃腸薬の配合成分に関する記述の正誤について、**正しい組み合わせ**を1つ選びなさい。

- a 制酸成分を主体とする胃腸薬については、酸度の高い食品と一緒に使用すると胃酸に対する中和作用が低下することが考えられるため、炭酸飲料での服用が適当である。
- b 過剰な胃液の分泌を抑える作用を期待して、副交感神経の伝達物質であるアセチルコリンの働きを抑えるロートエキスやピレンゼピン塩酸塩が配合されている場合がある。
- c スクラルファート等のアルミニウムを含む成分については、透析療法を受けている人では使用を避ける必要がある。

	a	b	c
1	誤	誤	正
2	正	誤	誤
3	正	正	正
4	誤	正	正
5	誤	正	誤

73. 腸に関する病態及びその薬に関する記述の正誤について、**正しい組み合わせ**を1つ選びなさい。

- a 腸の異常を生じる要因は、腸自体やその内容物によるものだけでなく、腸以外の病気等が自律神経系を介して腸の働きに異常を生じさせる場合もある。
- b 整腸薬には、腸内細菌の数やバランスに影響を与えたり、腸の活動を促す成分が主として配合されている。
- c 整腸薬のうち、人体に対する作用が緩和なものは、医薬部外品として製造販売されている製品がある。

	a	b	c
1	誤	正	正
2	正	誤	誤
3	誤	正	誤
4	正	正	正
5	正	誤	正

74. 瀉下成分に関する記述の正誤について、**正しい組み合わせ**を1つ選びなさい。

- a マルツエキスは、瀉下薬としては比較的作用が穏やかなため、主に乳幼児の便秘に用いられる。
- b ヒマシ油は、大腸のうち特に結腸や直腸の粘膜を刺激して、排便を促す。
- c ビサコジルは、小腸でリパーゼの働きによって生じる分解物が、小腸を刺激することで瀉下作用をもたらす。
- d 酸化マグネシウムは、腸内容物の浸透圧を高めることにより、糞便中の水分量を減らす作用がある。

	a	b	c	d
1	正	誤	正	正
2	正	正	誤	誤
3	正	誤	誤	誤
4	誤	正	正	正
5	誤	正	誤	正

75. 胃腸鎮痛鎮痙薬の配合成分に関する記述のうち、**正しいものの組み合わせ**を1つ選びなさい。

- a オキセサゼインは、局所麻酔作用のほか、胃粘膜にゼラチン状の皮膜を形成して保護する作用もある。
- b エンゴサクやシャクヤクは、鎮痛鎮痙作用を期待して配合されている場合がある。
- c パパベリン塩酸塩は、抗コリン成分と異なり自律神経系を介した作用がないため、眼圧を上昇させる作用を示さない。
- d アミノ安息香酸エチルは、メトヘモグロビン血症を起こすおそれがあるため、6歳未満の小児への使用は避ける必要がある。

- 1 (a、b)            2 (a、c)            3 (b、d)            4 (c、d)



76. 駆虫薬の配合成分に関する記述の正誤について、**正しい組み合わせ**を1つ選びなさい。

- a サントニンは、服用後、一時的に物が黄色く見えたり、耳鳴り、口渇が現れることがある。
- b ピペラジンリン酸塩は、ノルアドレナリン伝達を妨げて、回虫及び蟯虫の運動筋を麻痺させる作用を示し、虫体を排便とともに排出させることを目的として用いられる。
- c カイニン酸は、蟯虫の呼吸や栄養分の代謝を抑えて殺虫作用を示すとされる。
- d パモ酸ピルビニウムは、空腹時に服用するよりも、脂質分の多い食事の後に服用した方が効果的である。

	a	b	c	d
1	正	誤	正	誤
2	正	誤	誤	誤
3	正	正	誤	正
4	誤	正	正	正
5	誤	正	誤	正

77. 強心薬の配合成分に関する記述の正誤について、**正しい組み合わせ**を1つ選びなさい。

- a ジャコウは、ウグイスガイ科のアコヤガイ、シンジュガイ又はクロチョウガイ等の外套膜組成中に病的に形成された顆粒状物質を基原とする生薬である。
- b センソは、皮膚や粘膜に触れると局所麻酔作用を示すため、センソが配合された医薬品を服用する際は、嚙まずに服用することとされている。
- c ゴオウは、ウシ科のウシの胆嚢中に生じた結石を基原とする生薬である。
- d ロクジョウは、強心作用のほか、強壯作用もあるとされる。

	a	b	c	d
1	正	誤	正	誤
2	正	誤	誤	誤
3	正	正	誤	正
4	誤	正	正	正
5	誤	正	誤	正

78. 高コレステロール改善薬の配合成分に関する記述の正誤について、**正しい組み合わせ**を1つ選びなさい。

- a リボフラビンを摂取後、尿が黄色くなるのは、副作用であり、直ちに服用を中止しなければならない。
- b ビタミンEは、コレステロールから過酸化脂質の生成を抑えるほか、末梢血管における血行を促進する作用があるとされる。
- c パンテチンには、腸管におけるコレステロールの吸収を抑える働きがあるとされる。

	a	b	c
1	正	誤	正
2	正	正	誤
3	誤	誤	誤
4	誤	正	正
5	誤	正	誤

79. 貧血用薬（鉄製剤）に関する記述の正誤について、**正しい組み合わせ**を1つ選びなさい。

- a 服用すると便が黒くなることがあるが、これは使用の中止を要する副作用等の異常ではない。
- b 服用の前後30分に緑茶や柿等の飲食物を摂取すると、タンニン酸によって、鉄の吸収が良くなる。
- c 鉄の吸収は、満腹時より空腹時のほうが高いとされている。
- d 特段の基礎疾患等がなく鉄の欠乏を生じる主な要因としては、食事の偏り（鉄分の摂取不足）が考えられ、貧血用薬（鉄製剤）の使用による対処と併せて、食生活の改善が図られることが重要である。

	a	b	c	d
1	正	誤	正	正
2	正	正	誤	誤
3	正	誤	正	誤
4	誤	正	正	正
5	誤	正	誤	正

80. 次の循環器用薬及びその配合成分に関する記述のうち、**誤っているもの**を1つ選びなさい。

- 1 七物降下湯は、体力中等度以上で、のぼせ気味で顔面紅潮し、精神不安、みぞおちのつかえ、便秘傾向等のあるものの高血圧の随伴症状（のぼせ、肩こり、耳なり、頭重、不眠、不安）、鼻血、痔出血、便秘、更年期障害、血の道症に適すとされる。
- 2 ユビデカレノン<sup>®</sup>は、心筋の酸素利用効率を高めて収縮力を高めることによって血液循環の改善効果を示すとされ、軽度な心疾患により日常生活の身体活動を少し越えたときに起こる動悸、息切れ、むくみの症状に用いられる。
- 3 イノシトールヘキサニコチネートは、ニコチン酸を遊離し、そのニコチン酸の働きによって末梢の血液循環を改善する作用を示すとされる。
- 4 ルチンは、ビタミン様物質の一種で、高血圧等における毛細血管の補強、強化の効果を期待して用いられる。

81. 痔の薬の配合成分に関する記述の正誤について、**正しい組み合わせ**を1つ選びなさい。

- a カンフルは、ステロイド性抗炎症成分であり、痔による炎症や痒みを和らげる。
- b セチルピリジニウム塩化物は、粘膜表面に不溶性の膜を形成することで、粘膜の保護や止血作用を示す。
- c リドカインは、知覚神経に作用して刺激の伝達を可逆的に遮断することで、痔に伴う痛みや痒みを和らげる。

	a	b	c
1	正	誤	正
2	正	正	誤
3	誤	誤	正
4	誤	正	正
5	誤	正	誤

82. 泌尿器用薬及びその配合成分に関する記述の正誤について、**正しい組み合わせ**を1つ選びなさい。

- a 尿量増加（利尿）作用を期待して、カゴソウが配合されている場合がある。
- b 猪苓湯は、体力に関わらず、排尿異常があり、ときに口が渇くものの排尿困難、排尿痛、残尿感、頻尿、むくみに適すとされる。
- c 竜胆瀉肝湯は、構成生薬としてカンゾウを含んでいる。

	a	b	c
1	正	正	正
2	正	正	誤
3	誤	誤	正
4	正	誤	誤
5	誤	正	正

83. 女性に現れる症状及び婦人薬に関する記述のうち、**正しいものの組み合わせ**を1つ選びなさい。

- a 婦人薬は、月経及び月経周期に伴って起こる症状を中心として、女性に現れる特有な諸症状の緩和と、保健を主たる目的とする医薬品である。
- b 女性ホルモン成分は、その摂取による胎児の先天性異常の発生は報告されていないため、妊婦又は妊娠していると思われる女性でも使用できる。
- c 女性ホルモン成分の長期連用により血栓症を生じるおそれがあり、また、乳癌や脳卒中などの発生確率が高まる可能性もある。
- d 月経の約10～3日前に現れ、月経終了と共に消失する頭痛、乳房痛などの身体症状や感情の不安定、抑鬱などの精神症状を主体とするものを、月経前症候群という。

- 1 (a、b)            2 (a、c)            3 (b、d)            4 (c、d)

84. アレルギー及びアレルギー用薬に関する記述のうち、**正しいものの組み合わせ**を1つ選びなさい。

- a 皮膚症状が治まると喘息が現れるというように、種々のアレルギー症状が連鎖的に現れる場合は、一般用医薬品によって一時的な対処を図るよりも、医療機関で総合的な診療を受けた方がよい。
- b 一般用医薬品には、アトピー性皮膚炎等による慢性湿疹等の治療に用いることを目的とするものはない。
- c 一般用医薬品のアレルギー用薬（鼻炎用内服薬を含む。）は、一時的な症状の緩和に用いられるが、5～6日間使用して症状の改善がみられない場合は、長期連用する必要がある。

	a	b	c
1	正	正	正
2	正	正	誤
3	正	誤	誤
4	誤	正	正
5	誤	誤	誤

85. 歯や口中に用いる薬の配合成分に関する記述の正誤について、**正しい組み合わせ**を1つ選びなさい。

- a アラントインは、炎症を起こした歯周組織の修復を促す作用を期待して使用される。
- b アミノ安息香酸エチルは、齲蝕（むし歯）により露出した歯髄を通っている知覚神経の伝達を遮断し、痛みを鎮めることを目的として使用される。
- c 銅クロロフィリンナトリウムは、炎症を起こした歯周組織の修復を促す作用のほか、歯肉炎に伴う口臭を抑える効果も期待して使用される。

	a	b	c
1	正	誤	正
2	正	正	正
3	正	誤	誤
4	誤	正	正
5	誤	正	誤

86. 鼻炎用点鼻薬及びその配合成分に関する記述のうち、**正しいものの組み合わせ**を1つ選びなさい。

- a ナファゾリン塩酸塩が配合された点鼻薬は、過度に使用されると鼻粘膜の血管が収縮しなくなり、逆に血管が拡張して二次充血を招き、鼻づまりがひどくなりやすい。
- b スプレー式鼻炎用点鼻薬は、噴霧後に鼻汁とともに逆流する場合があるので、使用する前に鼻をよくかんでおく必要がある。
- c クロモグリク酸ナトリウムは、アレルギー性でない鼻炎や副鼻腔炎に対して有効である。
- d 一般用医薬品の鼻炎用点鼻薬の対応範囲は、急性又はアレルギー性の鼻炎及びそれに伴う副鼻腔炎の他、蓄膿症等の慢性のものも対象となっている。

- 1 (a、b)            2 (a、c)            3 (b、d)            4 (c、d)

87. 眼科用薬に関する記述の正誤について、**正しい組み合わせ**を1つ選びなさい。

- a 点眼の際に容器の先端が眼瞼（まぶた）や睫毛（まつげ）に触れると、雑菌が薬液に混入して汚染を生じる原因となるため、触れないように注意しながら1滴ずつ正確に点眼する。
- b 通常、ソフトコンタクトレンズは、水分を含みにくいので、装着したまま防腐剤を含む点眼薬を点眼しても問題はない。
- c 1滴の薬液量は、結膜囊の容積より小さいため、一度に数滴点眼する方が効果的である。

	a	b	c
1	誤	正	正
2	正	誤	誤
3	誤	正	誤
4	正	誤	正
5	正	正	正

88. 眼科用薬の配合成分に関する記述のうち、**正しいものの組み合わせ**を1つ選びなさい。

- a スルファメトキサゾールは、すべての細菌に対して効果があるが、ウイルスや真菌の感染に対する効果はない。
- b 緑内障と診断された人に、ナファゾリン塩酸塩が配合されている点眼薬を使用すると、眼圧の上昇を招き、緑内障を悪化させたり、その治療を妨げるおそれがある。
- c ネオスチグミンメチル硫酸塩は、コリンエステラーゼの働きを活性化する作用がある。
- d コンドロイチン硫酸ナトリウムは、結膜や角膜の乾燥を防ぐことを目的として用いられる。

1 (a、b)            2 (a、c)            3 (b、d)            4 (c、d)

89. 殺菌消毒薬の配合成分に関する記述の正誤について、**正しい組み合わせ**を1つ選びなさい。

- a アクリノールとオキシドールは、いずれも連鎖球菌、黄色ブドウ球菌等の化膿菌に対する殺菌消毒作用を示す。
- b ヨードチンキは、皮膚刺激性が弱く、粘膜（口唇等）や目の周りの部位に使用できるが、化膿している部位への使用は避けるべきである。
- c クロルヘキシジン塩酸塩は、一般細菌類、真菌類に対して比較的広い殺菌消毒作用を示すが、結核菌やウイルスに対する殺菌消毒作用はない。

	a	b	c
1	正	誤	正
2	正	誤	誤
3	誤	正	正
4	誤	正	誤

90. 皮膚に用いる薬に関する記述の正誤について、**正しい組み合わせ**を1つ選びなさい。

- a スプレー剤及びエアゾール剤は、できる限り至近距離から噴霧することが望ましい。
- b 外皮用薬は、表皮の角質層が固いほうが有効成分が浸透しやすくなることから、入浴前に用いるのが効果的とされる。
- c スプレー剤及びエアゾール剤は、強い刺激を生じるおそれがあるため、目の周囲や粘膜（口唇等）への使用は避けることとされている。
- d 貼付剤は、患部やその周囲に汗や汚れ等が付着した状態でも、十分な効果が得られる。

	a	b	c	d
1	正	誤	正	正
2	正	誤	誤	誤
3	誤	誤	正	誤
4	誤	正	正	誤
5	誤	正	誤	正

91. みずむしに用いる薬及びその配合成分に関する記述の正誤について、**正しい組み合わせ**を1つ選びなさい。

- a みずむしに用いられる液剤は、軟膏に比べて有効成分の浸透性が低く、患部に対する刺激が弱い。
- b 湿疹とみずむし等の初期症状は、類似していることが多く、湿疹に抗真菌作用を有する成分を使用すると、かえって湿疹の悪化を招くことがある。
- c オキシコナゾール硝酸塩は、皮膚糸状菌の細胞膜を構成する成分の産生を妨げたり、細胞膜の透過性を変化させることにより、その増殖を抑える。

	a	b	c
1	正	正	正
2	正	誤	誤
3	誤	正	正
4	誤	誤	誤



92. 毛髪用薬の配合成分に関する記述のうち、**正しいものの組み合わせ**を1つ選びなさい。

- a カルプロニウム塩化物は、適用局所において抗コリン作用を示し、頭皮の血管を拡張し、毛根への血行を促すことによる発毛効果を期待して用いられる。
- b エストラジオール安息香酸エステルは、男性ホルモンの一種であり、脱毛抑制効果を期待して用いられる。
- c ヒノキチオールは、抗菌、抗炎症等の作用を期待して用いられる。
- d カシュウは、頭皮における脂質代謝を高めて、余分な皮脂を取り除く作用を期待して用いられる。

1 (a、b)            2 (a、c)            3 (b、d)            4 (c、d)

93. 口内炎及び口内炎用薬に関する記述の正誤について、**正しい組み合わせ**を1つ選びなさい。

- a ステロイド性抗炎症成分が配合された口内炎用薬は、長期連用を避ける必要がある。
- b 医薬品の副作用として口内炎が生じることはない。
- c 口内炎の発生の仕組みは必ずしも解明されていないが、栄養摂取の偏り、ストレスや睡眠不足、唾液分泌の低下、口腔内の不衛生などが要因となって生じることが多いとされる。
- d 口内炎は、口腔粘膜に生じる炎症で、口腔の粘膜上皮に水疱や潰瘍ができて痛み、ときに口臭を伴う。

	a	b	c	d
1	正	誤	正	正
2	正	正	誤	誤
3	正	誤	正	誤
4	誤	正	正	正
5	誤	正	誤	正

94. 禁煙補助剤に関する記述の正誤について、**正しい組み合わせ**を1つ選びなさい。

- a 咀嚼剤は、菓子のガムのように噛み唾液を多く分泌させながら使用することが望ましいとされている。
- b ニコチンは、交感神経系を興奮させる作用を示すため、アドレナリン作動成分が配合された医薬品との併用により、その作用を増強させるおそれがある。
- c 咀嚼剤は、大量に使用しても禁煙達成が早まるものでなく、かえってニコチン過剰摂取による副作用のおそれがある。
- d うつ病と診断されたことのある人では、禁煙時の離脱症状により、うつ症状を悪化させることがあるため、使用を避ける必要がある。

	a	b	c	d
1	正	正	正	正
2	正	正	誤	誤
3	正	誤	正	誤
4	誤	正	正	正
5	誤	正	誤	正

95. 滋養強壮保健薬及びその配合成分に関する記述の正誤について、**正しい組み合わせ**を1つ選びなさい。

- a ビタミンB<sub>1</sub>主薬製剤は、リボフラビン酪酸エステル等が主薬として配合された製剤で、口角炎、口唇炎に用いられる。
- b ビタミンB<sub>6</sub>は、タンパク質の代謝に関与し、皮膚や粘膜の健康維持、神経機能の維持に重要な栄養素である。
- c アミノエチルスルホン酸は、タウリンとも呼ばれ、肝臓機能を改善する働きがある。

	a	b	c
1	正	正	誤
2	正	誤	正
3	誤	正	正
4	誤	誤	誤

96. 次の記述に当てはまる漢方処方製剤として、**最も適切なもの**を1つ選びなさい。

体力中等度以上で、濃い鼻汁が出て、ときに熱感を伴うものの鼻づまり、慢性鼻炎、蓄膿症に適すとされるが、体の虚弱な人（体力の衰えている人、体の弱い人）、胃腸虚弱で冷え症の人では、胃部不快感等の副作用が現れやすいなど、不向きとされている。

- 1 半夏厚朴湯
- 2 大黃牡丹皮湯
- 3 温清飲
- 4 辛夷清肺湯
- 5 芍薬甘草湯

97. 一般用医薬品に用いられる生薬成分に関する記述の正誤について、**正しい組み合わせ**を1つ選びなさい。

- a カッコンは、マメ科のクズの周皮を除いた根を基原とする生薬で、解熱、鎮痙等の作用を期待して用いられる。
- b ブクリョウは、サルノコシカケ科のマツホドの菌核で、通例、外層をほとんど除いたものを基原とする生薬で、利尿、健胃、鎮静等の作用を期待して用いられる。
- c サイコは、キンポウゲ科のハナトリカブト又はオクトリカブトの塊根を減毒加工して製したものを基原とする生薬で、心筋の収縮力を高めて血液循環を改善する作用を期待して用いられる。
- d ボウフウは、セリ科のボウフウの根及び根茎を基原とする生薬で、発汗、解熱、鎮痛、鎮痙等の作用を期待して用いられる。

	a	b	c	d
1	正	誤	正	正
2	正	正	誤	正
3	正	誤	正	誤
4	誤	正	正	誤
5	誤	正	誤	正

98. 消毒薬及びその配合成分に関する記述の正誤について、**正しい組み合わせ**を1つ選びなさい。

- a 次亜塩素酸ナトリウムやサラシ粉は、強い酸化力により一般細菌類、真菌類に対して殺菌消毒作用を示すが、ウイルスに対する殺菌消毒作用はない。
- b ジクロロイソシアヌル酸ナトリウム、トリクロロイソシアヌル酸等の有機塩素系殺菌消毒成分は、塩素臭や刺激性、金属腐食性が比較的抑えられており、プール等の大型設備の殺菌・消毒に用いられることが多い。
- c クレゾール石鹼液は、結核菌を含む一般細菌類、真菌類だけでなくウイルスに対しても広い殺菌消毒作用を示す。

	a	b	c
1	正	誤	正
2	正	正	誤
3	正	誤	誤
4	誤	正	正
5	誤	正	誤

99. 衛生害虫及びその防除に関する記述の正誤について、**正しい組み合わせ**を1つ選びなさい。

- a ゴキブリの卵は、医薬品の成分が浸透しやすい殻で覆われているため、燻蒸処理を一度行えば、十分な殺虫効果が期待できる。
- b ハエの防除の基本は、ウジの防除であり、ウジの防除法としては、通常、有機リン系殺虫成分が配合された殺虫剤が用いられる。
- c 屋内塵性ダニは、完全に駆除することは困難であるため、増殖させないということを基本に防除が行われることが重要である。
- d トコジラミは、シラミの一種ではなくカメムシ目に属する昆虫で、ナンキンムシとも呼ばれ、床や壁の隙間、壁紙の裏、畳の敷き合わせ目、ベッド等に潜伏する。

	a	b	c	d
1	正	誤	正	正
2	正	正	誤	誤
3	誤	誤	正	誤
4	誤	正	正	正
5	誤	誤	誤	正

100. 尿糖・尿タンパク検査に関する記述の正誤について、**正しい組み合わせ**を1つ選びなさい。

- a 尿中のタンパク値に異常を生じる要因としては、腎炎やネフローゼ等がある。
- b 通常、尿は弱アルカリ性であるが、食事その他の影響で酸性側に傾くと、正確な検査結果が得られなくなることがある。
- c 尿糖・尿タンパク同時検査の場合、早朝尿（起床直後の尿）を検体とするが、尿糖が検出された場合には、食後（2～3時間）の尿について改めて検査して判断する必要がある。

	a	b	c
1	正	誤	正
2	正	正	誤
3	誤	誤	正
4	誤	正	正
5	誤	誤	誤

## V 医薬品の適正使用と安全対策

101. 医薬品の適正使用情報に関する記述の正誤について、**正しい組み合わせ**を1つ選びなさい。

- a 要指導医薬品又は一般用医薬品の添付文書は、一般の生活者に理解しやすい平易な表現で記載されているが、その内容は一般的・網羅的なものとならざるをえない。
- b 医薬品の販売等に従事する専門家においては、購入者等への情報提供及び相談対応を行う際に、添付文書や製品表示に記載されている内容を理解する必要はない。
- c 医薬品は、効能・効果、用法・用量、起こり得る副作用等、その適正な使用のために必要な情報（適正使用情報）を伴って初めて医薬品としての機能を発揮するものである。
- d 一般用医薬品は、薬剤師、登録販売者その他の医薬関係者から提供された情報に基づき、一般の生活者が購入し、自己の判断で使用するものである。

	a	b	c	d
1	正	誤	正	正
2	誤	正	正	誤
3	正	誤	誤	正
4	誤	誤	正	正
5	誤	正	誤	誤

102. 一般用医薬品の添付文書における使用上の注意に関する記述の正誤について、**正しい組み合わせ**を1つ選びなさい。

- a 「してはいけないこと」、「相談すること」及び「受診すること」から構成され、それぞれ統一された標識的マークがついている。
- b 「してはいけないこと」には、守らないと症状が悪化する事項、副作用又は事故等が起こりやすくなる事項について記載されている。
- c 「してはいけないこと」の「次の部位には使用しないこと」の項には、使用を避けるべき患部の状態、適用部位等に分けて、簡潔に記載されている。
- d 「相談すること」の「次の症状のある人」の項には、医薬品の軽率な使用により、状態の悪化や副作用を招きやすい症状について記載されている。

	a	b	c	d
1	正	正	誤	正
2	正	正	正	誤
3	正	誤	誤	正
4	誤	誤	誤	誤
5	誤	正	正	正

103. 一般用医薬品の添付文書における使用上の注意の記載に関する記述の正誤について、**正しい組み合わせ**を1つ選びなさい。

- a 使用上の注意には、「服用前後は飲酒しないこと」など、小児では通常当てはまらない内容もあるが、小児に使用される医薬品においても、その医薬品の配合成分に基づく一般的な注意事項として記載されているものがある。
- b 小児が使用した場合に特異的な有害作用のおそれがある成分を含有する医薬品では、通常、「次の人は使用（服用）しないこと」の項に「15歳未満の小児」、「6歳未満の小児」等と記載されている。
- c 摂取した医薬品の成分の一部が乳汁中に移行することが知られているが、「してはいけないこと」の項で「授乳中の人は本剤を服用しないか、本剤を服用する場合は授乳を避けること」として記載するほどではない場合、「相談すること」の項に「授乳中の人」と記載されている。

	a	b	c
1	誤	正	誤
2	正	正	正
3	誤	誤	正
4	正	正	誤
5	正	誤	正

104. 次の記述は、一般用医薬品の添付文書の副作用の記載に関するものである。( )  
にあてはまる字句として、**正しいものの組み合わせ**を1つ選びなさい。

副作用については、まず一般的な副作用について ( a ) に症状が記載され、そのあとに続けて、( b ) 発生する重篤な副作用について ( c ) に症状が記載されている。

	a	b	c
1	発現部位別	連用により	副作用名ごと
2	発現部位別	まれに	副作用名ごと
3	副作用名ごと	連用により	発現部位別
4	副作用名ごと	高頻度に	発現部位別
5	副作用名ごと	まれに	発現部位別



105. 一般用医薬品の添付文書における使用上の注意「相談すること」に関する記述の正誤について、**正しい組み合わせ**を1つ選びなさい。

- a 各医薬品の薬理作用等から発現が予測され、容認される軽微な症状（例えば、抗ヒスタミン薬の眠気等）であるが、症状の持続又は増強がみられた場合には、いったん使用を中止した上で専門家に相談する旨が記載されている。
- b 漢方処方製剤においては、長期連用する場合、医薬品の販売等に従事する専門家に相談する旨が記載されている。本記載がない漢方処方製剤は、短期の使用に限られるものである。
- c 一般用検査薬では、検査結果が陰性であっても何らかの症状がある場合は、再検査するか又は医師に相談する旨等が記載されている。

	a	b	c
1	正	正	正
2	正	誤	正
3	正	正	誤
4	誤	正	誤
5	誤	誤	正

106. 一般用医薬品の製品表示に関する記述の正誤について、**正しい組み合わせ**を1つ選びなさい。

- a 医薬品によっては添付文書の形でなく、医薬品医療機器等法第52条の規定に基づく「用法、用量その他使用及び取扱い上必要な注意」等の記載を、製品の外箱等に行っている場合がある。
- b エアゾール製品は、医薬品医療機器等法の規定による法定表示事項のほか、高圧ガス保安法に基づく注意事項として「高温に注意」などの注意事項が記載されている。
- c 使用期限の表示については、適切な保存条件の下で製造後3年を超えて性状及び品質が安定であることが確認されている医薬品において、医薬品医療機器等法に基づく表示義務はない。

	a	b	c
1	正	誤	正
2	正	正	誤
3	正	正	正
4	誤	正	誤
5	誤	誤	正

107. 一般用医薬品の製品表示に関する記述の正誤について、**正しい組み合わせ**を1つ選びなさい。

- a 購入者によっては、購入後すぐ開封せずにそのまま保管する場合や持ち歩く場合があるため、添付文書を見なくても適切な保管がなされるよう、その容器や包装にも、保管に関する注意事項が記載されている。
- b 1回服用量中0.1 mLを超えるアルコールを含有する内服液剤（滋養強壯を目的とするもの）については、アルコールを含有する旨及びその分量が記載されている。
- c 表示された「使用期限」までは、いったん開封されたものについても品質が保証される。

	a	b	c
1	正	誤	正
2	正	正	誤
3	誤	正	正
4	誤	正	誤
5	誤	誤	正

108. 次の記述は、緊急安全性情報に関するものである。（ ）にあてはまる字句として、**正しいものの組み合わせ**を1つ選びなさい。

緊急安全性情報は、医薬品、医療機器又は再生医療等製品について緊急かつ重大な注意喚起や使用制限に係る対策が必要な状況にある場合に、厚生労働省からの命令、指示等に基づいて、製造販売業者等から医薬関係者に対して、（ a ）以内に直接配布、ファックス、電子メール等で情報提供されるものである。

A4サイズの印刷物で、（ b ）とも呼ばれており、これまでに（ c ）に関する緊急安全性情報が発出されたこともある。

	a	b	c
1	3日	ブルーレター	一般用医薬品
2	1週間	ブルーレター	特定保健用食品
3	1週間	イエローレター	一般用医薬品
4	1ヶ月	イエローレター	一般用医薬品
5	1ヶ月	イエローレター	特定保健用食品

109. 医薬品の副作用の報告制度に関する記述のうち、**誤っているもの**を1つ選びなさい。

- 1 医薬品の市販後においても、安全性に関する情報を収集することが製造販売業者に義務づけられている。
- 2 要指導医薬品に関して、既存の医薬品と明らかに異なる有効成分が配合されたものについては、一定期間、承認後の使用成績等を製造販売業者等が集積し、厚生労働省へ提出する制度（再審査制度）が適用される。
- 3 一般用医薬品は、承認後の調査（市販後調査）を行う必要はない。
- 4 医療用医薬品で使用されていた有効成分を要指導医薬品で初めて配合したものについては、承認条件として承認後の一定期間、安全性に関する調査及び調査結果の報告が求められている。

110. 次の記述は、医薬品の副作用情報等の評価及び措置に関するものである。（ ）  
にあてはまる字句として、**正しいものの組み合わせ**を1つ選びなさい。

収集された副作用等の情報は、その医薬品の製造販売業者等において評価・検討され、必要な安全対策が図られる。各制度により集められた副作用情報については、（ a ）において（ b ）の意見を聴きながら調査検討が行われ、その結果に基づき、厚生労働大臣は、（ c ）の意見を聴いて、安全対策上必要な行政措置を講じている。

	a	b	c
1	独立行政法人 医薬品医療機器総合機構	製造販売業者	厚生科学審議会
2	独立行政法人 医薬品医療機器総合機構	専門委員	薬事・食品衛生審議会
3	厚生労働省	専門委員	厚生科学審議会
4	厚生労働省	専門委員	薬事・食品衛生審議会
5	厚生労働省	製造販売業者	薬事・食品衛生審議会

111. 医薬品による副作用等が疑われる場合の報告の仕方に関する記述のうち、**正しいもの**を1つ選びなさい。

- 1 医薬品の過量使用や誤用によるものと思われる健康被害については、本人の不注意によるため、報告は不要である。
- 2 報告すべき副作用は、使用上の注意に記載されているものに限定される。
- 3 報告様式は、独立行政法人医薬品医療機器総合機構のホームページから入手でき、報告にあたっては、様式の項目をすべて記入しなければならない。
- 4 複数の医薬品の販売等に従事する専門家が医薬品の販売等に携わっている場合であっても、その副作用等によると疑われる健康被害の情報に直接接した1名が、報告書を提出すればよい。

112. 医薬品副作用被害救済制度に関する記述の正誤について、**正しい組み合わせ**を1つ選びなさい。

- a 健康被害を受けた本人（又は家族）の給付請求を受けて、医学的薬学的判断を要する事項について薬事・食品衛生審議会の諮問・答申を経て、厚生労働大臣が判定した結果に基づき各種給付が行われる。
- b 医薬品副作用被害救済制度とは、一部の医薬品を除き、医薬品を適正に使用したにもかかわらず副作用による一定の健康被害が生じた場合に、医療費等の給付を行い、これにより被害者の迅速な救済を図ることを目的とした制度である。
- c 救済給付業務に必要な費用は、すべて製造販売業者等から年度ごとに納付される拠出金が充てられており、国庫補助は全く含まれていない。

	a	b	c
1	正	正	正
2	正	正	誤
3	正	誤	正
4	誤	誤	正
5	誤	正	誤

113. 次の医薬品副作用被害救済制度による給付のうち、給付額が**定額でないもの**を1つ選びなさい。

- 1 医療手当
- 2 医療費
- 3 障害児養育年金
- 4 遺族一時金
- 5 葬祭料

114. 医薬品副作用被害救済制度に関する記述の正誤について、**正しい組み合わせ**を1つ選びなさい。

- a 殺虫剤・殺鼠剤、殺菌消毒剤（人体に直接使用するものを除く）の使用による健康被害事例は、医薬品副作用被害救済制度の対象となる。
- b 無承認無許可医薬品の使用による健康被害事例は、医薬品副作用被害救済制度の対象とならない。
- c 製品不良など、製薬企業に損害賠償責任がある健康被害事例は、医薬品副作用被害救済制度の対象とならない。
- d 日本薬局方精製水の使用による健康被害事例は、医薬品副作用被害救済制度の対象となる。

	a	b	c	d
1	正	正	誤	正
2	正	正	正	誤
3	正	誤	誤	正
4	誤	正	正	正
5	誤	正	正	誤

115. 医薬品医療機器等法第68条の10第1項の規定に基づき、医薬品の製造販売業者が、その製造販売した医薬品について行う副作用等の報告において、15日以内に厚生労働大臣に報告することとされている事項のうち、**正しいものの組み合わせ**を1つ選びなさい。

- a 医薬品によるものと疑われる副作用症例のうち、使用上の注意から予測できないもので、死亡に至った事例
- b 副作用症例・感染症の発生傾向が著しく変化したことを示す研究報告
- c 医薬品によるものと疑われる副作用症例のうち、発生傾向の変化が保健衛生上の危害の発生又は拡大のおそれがあるもので、重篤（死亡を含む）な事例
- d 医薬品によるものと疑われる副作用症例のうち、使用上の注意から予測できるもので、非重篤な事例

1 (a、b)            2 (a、c)            3 (b、d)            4 (c、d)

116. 次の医薬品成分のうち、目のかすみや異常なまぶしさを生じることがあるため、添付文書の「してはいけないこと」の欄に、「服用後、乗物又は機械類の運転操作をしないこと」と記載されているものを1つ選びなさい。

- 1 ピレンゼピン塩酸塩水和物
- 2 無水カフェイン
- 3 合成ヒドロタルサイト
- 4 アルジオキサ

117. 次の医薬品成分のうち、分娩時出血の増加のおそれがあるため、添付文書の「してはいけないこと」の欄に、「出産予定日12週以内の妊婦」と記載されているものを1つ選びなさい。

- 1 アミノ安息香酸エチル
- 2 ブロモバレリル尿素
- 3 イブプロフェン
- 4 ロペラミド塩酸塩
- 5 ビタミンA

118. 次の医薬品成分のうち、腸管粘膜への刺激が大きくなり、腸管粘膜に炎症を生じるおそれがあるため、添付文書の「してはいけないこと」の欄に、「大量に使用（服用）しないこと」と記載されているものを1つ選びなさい。

- 1 ケイ酸アルミン酸マグネシウム
- 2 ジサイクロミン塩酸塩
- 3 アスコルビン酸
- 4 センナ

119. 次の医薬品成分のうち、添付文書の「相談すること」の欄に、「次の診断を受けた人」として「胃・十二指腸潰瘍」と記載されている正しいものの組み合わせを1つ選びなさい。

- a アスピリン
- b 次硝酸ビスマス
- c マオウ
- d グリチルリチン酸二カリウム

1 (a、b)            2 (a、c)            3 (b、d)            4 (c、d)

120. 次の医薬品成分のうち、生じた血栓が分解されにくくなるため、添付文書の「相談すること」の欄に、「次の診断を受けた人」として「血栓のある人（脳血栓、心筋梗塞、血栓静脈炎等）、血栓症を起こすおそれのある人」と記載されているものを1つ選びなさい。

- 1 次硝酸ビスマス
- 2 エテンザミド
- 3 セトラキサート塩酸塩
- 4 ペントキシベリンクエン酸塩
- 5 パパベリン塩酸塩

## 平成28年度登録販売者試験正答

I 医薬品に共通する特性と基本的な知識		II 人体の働きと医薬品		III 薬事に関する法規と制度		IV 主な医薬品とその作用				V 医薬品の適正使用と安全対策	
問1	2	問21	3	問41	2	問61	3	問81	3	問101	1
問2	1	問22	2	問42	4	問62	3	問82	1	問102	5
問3	5	問23	5	問43	1	問63	1	問83	2	問103	2
問4	5	問24	4	問44	3	問64	2	問84	2	問104	2
問5	1	問25	2	問45	2	問65	3	問85	2	問105	1
問6	1	問26	4	問46	1	問66	2	問86	1	問106	3
問7	4	問27	3	問47	4	問67	3	問87	2	問107	2
問8	4	問28	4	問48	2	問68	4	問88	3	問108	4
問9	4	問29	1	問49	3	問69	1	問89	1	問109	3
問10	4	問30	1	問50	4	問70	2	問90	3	問110	2
問11	2	問31	5	問51	4	問71	3	問91	3	問111	4
問12	5	問32	2	問52	2	問72	4	問92	4	問112	2
問13	1	問33	2	問53	4	問73	4	問93	1	問113	2
問14	4	問34	4	問54	3	問74	3	問94	4	問114	5
問15	2	問35	1	問55	3	問75	3	問95	3	問115	2
問16	1	問36	4	問56	3	問76	2	問96	4	問116	1
問17	1	問37	3	問57	1	問77	4	問97	2	問117	3
問18	2	問38	4	問58	4	問78	5	問98	5	問118	4
問19	3	問39	1	問59	2	問79	1	問99	4	問119	1
問20	3	問40	5	問60	2	問80	1	問100	1	問120	3